

POWER!



2014年 7月 vol. 34

平成26年(2014年) 7月20日発行
発行所 ● 日本薬剤師連盟 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-3 四谷トーセイビル2階 TEL (03) 3225-3100 FAX (03) 3225-3200
発行月 ● 隔月(奇数月)発行

<http://www.yakuren.jp>

●新執行部一覧

会長	山本 信夫
副会長兼幹事長	岩本 研
副会長	生出泉太郎
副会長	荻野 構一
副会長	尾島 博司
副幹事長	安東 哲也
副幹事長	手塚 幹子
常任総務	石井 甲一
常任総務	大澤 泰輔
常任総務	小野 春夫
常任総務	高木 秀彦
常任総務	鳥海 良寛
常任総務	浜田 嘉則
総務	上村 芳彦
総務	大原 整
総務	櫛方 絢子
総務	近藤直緒美
総務	遠藤 一司
総務	清水 大
総務	高橋 良徳
総務	丹下 富博
総務	徳吉 公司
総務	中井 順一
総務	永田 泰造
総務	根本 陽充
総務	藤澤 芳則
総務(北海道)	大江 利治
総務(東北)	安田 哲弘
総務(関東)	内山 宣世
総務(東京)	岸 亨
総務(北陸信越)	沓掛 隆義
総務(東海)	山崎 太
総務(大阪)	藤垣 哲彦
総務(近畿)	川勝 一雄
総務(中国)	深田 慎治
総務(四国)	宮内 芳郎
総務(九州)	藤野 哲朗
監事	根本 清美
監事	高祖 順一
監事	大森 章

(平成26年7月7日現在)

ね。「薬局を放りっぱなしにして、自分

のような連携が大事ですね。

間日本薬剤師会から遠ざかっていまし

評価されていますか？

先生方に正しく理解してもらえよう、

間副会長を務めました。平成24年に東京

ですが、今のところ継いでくれる様子はな

の職能を国民の代表である国会議員の

たことが印象的でした。平成10年から常

継ぐつもりはあるのでしょうか？

う公益活動を行っています。一方、日本

の分業施策に参画させて頂きました。昭

して孫が1人います。

も同じような関係ではないかと思いま

は、昭和59年に薬局第二委員会の委員に

家族構成を教えてください。

が、会長はどのように考えていますか？

を教して下さい。

います。今日は、会員が知りたいと思っ

のか決められません、分かりやすい例

を教して下さい。

ている質問を沢山持ってきました。プラ

が、会長はどのように考えていますか？

を教して下さい。

すので、よろしく願います。まず、

の両輪となって、仲良くするのが基本で

からある薬局で、地域のかかりつけ薬局

タビューしたいと思います。

すよ。日本薬剤師会と日本薬剤師連盟

として頑張っているつもりです。

思っていることを、4月に日本薬剤師連

た。水野調剤薬局勤務の後、奥様とも

た。

事務所があります。会員が知りたいと

守中もしっかり薬局を守ってくれていま

た。

は、新宿通り四谷四丁目です。地下鉄丸

の原点だと思っています。

た。

ファーマくんがゆく

山本信夫会長をたずねて



日本薬剤師会と連携して頑張っておき

た。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

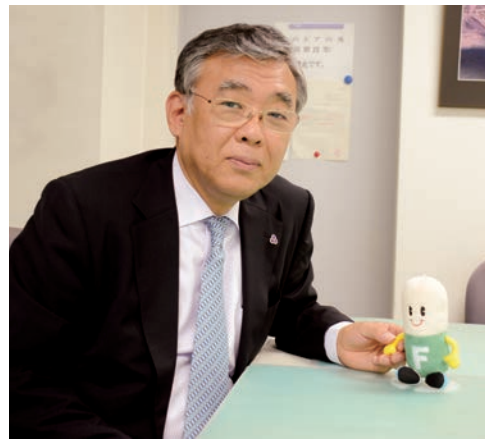
お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。

お聞かせ下さい。



風力計



日本薬剤師連盟 副幹事長 安東 哲也

薬剤師はもっと政治に関心を持とう

先日ある代議士のパーティーがあり参加してきました。多くの議員が挨拶され最後に主催者代議士が挨拶し、その挨拶の一部に次のような言葉がありました。「多くの人々に私は政治家として様々な政治活動・問題など訴えてきました。その都度、私の信念としての発言は、多くの人々から素晴らしい言葉を受け、その言葉をそのまま国民に演説しても感動がありません。それは感情が入ってない受け取りだからです。その言葉を引用し演説するときはどのような時にも自分自身が唱へし自分で納得し感情で訴えることにより、相手に伝わるのである。」と云われました。その挨拶を聞き自分も今まで連盟活動・投票時の説明等を行う時受け取り方をそのまま出しているのではと反省しました。

また地元では首長の後援会に参加する機会があり、最初に食育の講演会、その後後援会長の挨拶の中に「現在の市街地は人造の街であり、現代人はそれが自然の中の街と勘違いしているのでは。現在、神社や遺跡等のある地域が、昔の人間が最適な自然と生活が協調している地域として選んだところであり、真に改革等と宣言してもその人造からの発想では快適な社会生活を送れるのか再度考え方を直しては。」との挨拶であった。その後首長がこれまで行った市政とこれからの市政について講演があり、財政問題と社会保障制度について語った中に「財政圧迫と人口減少と高齢化社会は比例する。これからは様々な業種の方々との議論を重ね、市民が安心・安全に暮らせる社会を形成する協働事業をやって行きたい。」と述べられた。

政治家の方々が真に国民の事を考え活動していることのように、我々薬剤師も国民の一人として政治にも関心を持ち、考え、安心・安全な国づくりに参画しましょう。

ここで 言わせて! 本音でtalk

マイオピニオン

政府は、厚生労働省は、日本薬剤師会は、私たち現場の問題をわかってきているのか!?
聞かせて下さい!
あなたの意見!

『調剤報酬の改善点・疑問点について』

1

残薬による日数調整は 薬剤師判断で!

現状では、残薬を利用するために処方箋の日数を変更するには、医師への疑義照会が必要です。在宅訪問をしている場合などは事前に医師に残薬の数を報告することもありますが、その場合、残薬を利用した上で28日分にしてよいのか、実際に14日分だけ服用して終わりなのか不明確な場合もあります。

技術料に関しても残薬を利用した場合には、その部分の調剤料は算定できません。特に、ノンコンプライアンスの改善策として一包化を提案した場合は、残薬を利用することで一包化加算の要件を満たさなくなるというケースもあるなど、保険調剤上の取り扱いが複雑になってしまっている点があります。

そこで、処方箋は「医師が最終的に患者の手に何日分渡すようにするのか」を指示するためのものにしてはいかかでしょうか。後発医薬品の利用促進策のように、あらかじめ処方せんに残薬の利用

の有無について指示してもらいたいという方もいかもしれません。その指示が無い場合は薬剤師の裁量に委ねられるようにしてはいかがでしょうか。

残薬のチェックには、処方内容からだけではわからない労力や時間もかかります。それにかかる技術にも評価が得られるような仕組みにしてもらいたいと思います。

(広島県開局 A・Tさん)

2

在宅医療に貢献したい!

在宅患者訪問薬剤管理指導料において同一建物居住者の場合、350点から300点へ減点された上に、同一建物居住者以外を含めて、薬剤師一人につき1日に5回までに制限されました。施設等と患者宅への訪問服薬指導の比率が偏りすぎていたとはいえ、人数制限を設けることで現場では、収入を維持する為結果的に仕事の質が落ちてしまう懸念もあります。もちろん現場レベルでは医療

3

おくすり手帳は誰のため???

今回の調剤報酬の疑問点はなんといってもおくすり手帳の点数差である。2年間おくすり手帳の重要性を訴え続け、ア

(東京都開局 H・Nさん)

人として、あくまで患者へのサービス向上をひたすら目指していく薬剤師仲間が大半と信じています。今回の改定に向けて、前述した質の低下を指摘されないよう踏ん張り、薬剤師が在宅医療において、さらに貢献し、今以上の対価を得られるよう、前向きに日々患者と向き合うべきだと思います。

ピールしてきたことが、まるで7点の為だったかのようになられてしまっている。

もちろん、重要なものであるけれども、患者自身の為であるのだから、持たないのも自由である。しかし、手帳を持ち、薬局で情報提供する方が自己負担が増えるという今回の改定はいかなるものか。薬局でもその人の服薬情報が少なければ服薬指導に手間と時間もかかってしまう。しかし一方では、すでにネットなどで「薬局での薬代負担を軽くするためにおくすり手帳を断ろう、20円安くならします。」といったツイートの広がったりしている。持っていないも「忘れた」という人も増えてしまうかもしれない。

今後はより一層、おくすり手帳は薬局の為ではなく、患者自身の健康を守るためであるということを薬剤師は訴えていかなければいけない。例えばおくすり手帳で薬の重複がわかれば、重複した薬が削除され、余分な薬を飲まないでいい上に当然金額も安くなります……といったようなアピールをしていかなければいけないであろう。またスマホを利用した電子版おくすり手帳も算定要件として認めていくことも必要である。ただすべての薬局で対応できる必要があり、やはりこちらの面でも薬局、薬剤師の意識向上が求められる……とは思っています。

(大阪府開局 N・Kさん)

長野順一 栃木県薬剤師連盟前会長 ご逝去される

前年度まで栃木県薬剤師連盟及び栃木県薬剤師会会長を務められた長野順一氏が5月10日(土)にご逝去された。享年77歳。同氏は本連盟において昭和59年4月から平成2年3月まで監事、平成2年4月から平成12年8月まで副幹事長、平成22年4月から平成26年3月まで関東ブロック総務を務められた。

東京ワンピースの活動について

東京都薬剤師連盟 東京ワンピース

東京都薬剤師連盟では平成20年度に「PGN部会」を設立し、若手薬剤師の集会を開催。平成23年度からは「若手薬剤師フォーラム」を企画・開催してまいりました。

そして、分科会などをきっかけに議論を競合しながら交流し、所属する地域を越えた繋がりを持って、連携をとることで、『ひとつなぎ』の輪になることを目標と掲げ、当委員会を『東京ワンピース』と命名し、平成25年度より新たなスタートを切り、現在に至っております。

また、当委員会は過去の集会に参加した実行力のある若手薬剤師により、実行委員会を立ち上げ、秋の「東京ワンピース・フォーラム」と、春の「東京ワンピースの集い」の企画・運営をし、1~2ヶ月に1度、委員会を開催しております。

前者の「東京ワンピース・フォーラム」は、過去の参加経験は問わず、初めての方も含め、より多くの

若手薬剤師の人達が参加しています。

そして、国会見学(年4回)実施後の意見交換会により、薬剤師と政治の関わり、薬剤師連盟と薬剤師会の関わり、連盟活動の歴史などについて触れることにより、政治への理解と興味を持って頂くことを第一の目的として開催しております。

一方、後者の「東京ワンピースの集い」は、過去の若手薬剤師の集会やフォーラムの参加経験者を対象として開催しております。



昨年度を例に挙げると、参議院議員・衆議院議員(組織選挙)の意義、法律ができるまでの流れなど、より具体的で詳しい内容に触れることで政治への理解を深め、さらには医療圏ごとに集会を開催し、その集会におけるリーダーとして活動しています。我々薬剤師の代表である藤井もとゆき先生の政治活動を支えるための後援会活動を充実させることを最大の目標として活動しております。

こうした『ワンピース』の繋がりを広げることで、一連の連盟活動が活発になるよう、本連盟は今後も邁進して参ります。

PGN:ファーマシスト・ガウン・ネットワーク

故 小田利郎先生を偲ぶ会、しめやかに開催される

5月14日(水) ホテルニューオータニ東京において、さる2月9日に逝去された故 小田利郎先生(日本薬剤師会副会長、福岡県薬剤師会前会長、日本薬剤師連盟幹事長)を偲ぶ会が日本薬剤師会、福岡県薬剤師会、日本薬剤師連盟の共催により開催された。式典には、薬剤師会、薬剤師連盟をはじめ、国会議員、行政、関係団体から約200名が参列した。会場には大型スクリーンが掲げられ、ありし日の小田先生の姿が音楽とともにスライドで流され多くの出席者が、つい先日まで元気に活躍されていた小田先生をあらためて想い偲んだ。



参列者全員による黙とうが捧げられた後、偲ぶ会の実行委員長を務める児玉孝日薬会長より「お別れの言葉」が述べられた。その後、伊吹文明衆議院議長(薬剤師問題議員懇談会会長)、麻生太郎財務大臣、田村憲久厚労大臣からお悔やみの言葉を頂戴した。国会議員は他に松本純衆議院議員、藤井基之参議院議員、と



かしきなおみ衆議院議員、衛藤晟一内閣総理大臣補佐官ら約30名が参列した。また医療関係団体からは、小田先生と同じ福岡県出身の横倉義武日本医師会会長が参列して小田先生の類まれな人物像と実行力について深く回想された。

最後に「閉式」を山本信夫日薬連盟会長が行い会を閉じた。

取材 平野町長へのインタビュー

インタビュー:和歌山県薬剤師連盟幹事長 白井良和



平野嘉也町長

平成26年
4月20日
和歌山県高野町長選挙に
おいて見事

当選されました和歌山県薬剤師会常務理事であり、広報委員長である平野嘉也氏(46)にお話しをお伺いしました。

Q 高野町について

高野町は、和歌山県北東部に位置し、高野山真言宗の聖地高野山を中心とする町であり、2004年には、紀伊山地の霊場と参詣道として世界遺産に登録され、日本のみならず世

Q なぜ立候補したのですか

界から多くの人が訪れています。

平野町長は、20年間病院薬剤師として勤務する中で、前町政が赤字解消のための病院を診療所にするこの方針を打ち出したため、町民が安心できる医療が来ていないと、2、3年前からすべてに閉塞感が漂い始めたこと、医療、観光、教育等に関しても不安が拭えず思いあまって立候補したとのこと。

Q どのような町にしたいか

医療については、町民が安心し

て最善の医療が受けられる小規模多機能診療所を目指したい。たとえば、今の土曜日だけの救急を一日でも多くする、医師、看護師の確保が大変なのですがいろんなところに実情を訴えて実現したいと考えています。

また、来年は、弘法大師空海が高野山を開創し1200年を迎えます。(平成27年4月2日〜5月21日)世界各国から30〜40万人の人々が高野山に来られるため、万全の準備を整え、おもてなしをしたいと考えています。今年度は、イブイヤーに当たるため夏頃から各種イベントやいろいろな仕掛けを考えていますので、避暑をかね

てぜひお越しいただきたいのとです。

そのほか、人口(約3500人)流出をいかに食い止め、子育て世代や高齢者がいきいきと暮らせる「安寧都市こうや」を創設したい。薬剤師の町長と言うことで学校薬剤師の処遇についても強い関心を持たれています。

同じ仕事をして、各市町村で待遇に差があることを非常に憂慮されていました。

また、防災、産業、まちづくり等々公約に基づいたいろんなアイデアが飛び出し話の尽きない一日となりました。

もとゆき Report 藤井もとゆき国会レポート

薬剤師・薬学博士
参議院議員 藤井もとゆき



骨太の方針と医薬分業

6月13日、政府の経済財政諮問会議(議長:安倍総理)は、経済財政運営と改革の基本方針(いわゆる骨太の方針2014)の素案を公表しました。骨太の方針は、来年度政府予算案の作成にあたっての基本方針を示すもので、新たな成長戦略を検討している「産業競争力会議」や規制改革実施計画を検討している「規制改革会議」とも連携しつつ作成され、6月24日に閣議決定されました。

薬剤師会を含む業界が大いに心配し、注目していたのは、薬価調査・薬価改定の毎年実施でしたが、「薬価調査・薬価改定の在り方について、診療報酬本体への影響にも留意しつつ、その頻度を含めて検討する」との記載となり、毎年改定は当面回避されましたが、今後の動きが気になります。

一方、経済財政諮問会議の民間議員からは、医薬分業の在り方について懸念が表明されていました。本来目指してきた「かかりつけ薬局」機能への期待に反して「門前薬局」が多く存在することが指摘されていました。この点について骨太の方針では、次のように記載されました。検証については今後の動向が心配されますが、リフィル制度が明記されたことは画期的なことと評価したいと思います。

○ 医薬分業の下での調剤技術料・薬学管理料の妥当性・適正性について検証するとともに、診療報酬上の評価において、調剤重視から服薬管理・指導重視への転換を検討する。その際、薬剤師が処方変更の必要がないかを直接確認した上で一定期間内の処方箋を繰り返し利用する制度(リフィル制度)等について医師法との関係に留意しつつ、検討する。

骨太の方針では、上記の他、スイッチOTCを加速するための取組を具体的な目標を設定して推進すること、諸外国並みの後発医薬品普及率を目指すこと等が示されています。

閣議決定を受けて、政府は骨太の方針に沿って来年度予算案や行政施策の策定作業を行うこととなります。

薬剤師国会議員のパーティー開催される



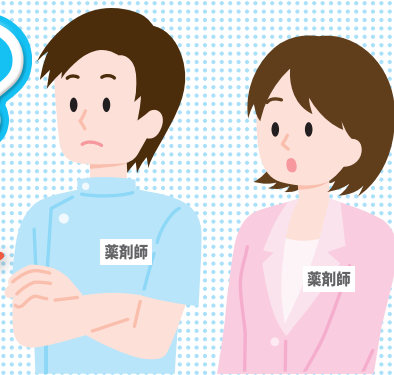
6月18日(水)
とかしきなおみ君を
励ます会



6月16日(月)
松本純政経セミナー2014

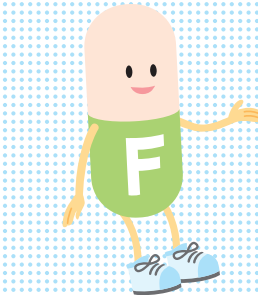


日本薬剤師連盟って何?



医薬分業ってどのくらいの歴史があるか知ってるかい?

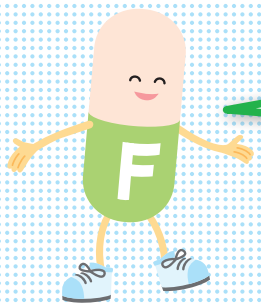
ずっと昔からじゃないんですか?



今では、当たり前になっているけれど、40年前まではほとんど進んでなかったんだ。およそ60年前、当時の薬剤師が「日本薬政会」という政治団体を作って、国に分業の実施を働きかけたんだ。その結果、医師法や薬剤師法が改正されて、現在の医薬分業の法律上の基盤になったんだ。

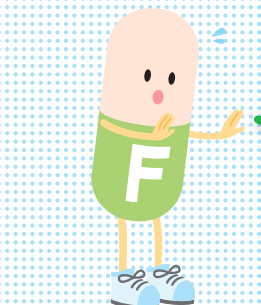


医薬分業早期実現を求めて全国から集まった薬剤師 8000 人の都内デモ行進 (昭和 26 年)



そして、その「日本薬政会」が、今は政治団体「日本薬剤師連盟」となって活動しているんだよ。

誰かが作ってくれた制度じゃなくて、薬剤師のパワー (POWER) でできた制度なんですわね!



政治団体と聞いただけで尻込みしないで〜薬剤師の仕事って、たくさんの法律に関わってるし、制度はどんどん変わっている。薬剤師の仕事に関係のある法律っていくつぐらいあるか知っている?

でも、もう医薬分業はできてるし、他にになにかする事があるの? 政治と違ってちょっと分かりにくいし、メンドクさいです。



例えば薬局勤務だったら、その他に
医療法 健康保険法 国民健康保険法
医薬品副作用被害救済基金法 介護保険法
麻薬及び向精神薬取締法 公害健康被害補償法
etc、etc……挙げ始めたらキリがない!

えっと、**薬事法**と**薬剤師法**と……



薬剤師はたくさんの法律に基づいて仕事してるんですわね!



そう! 薬剤師という職業は、法律や制度の下で仕事をしている。国の政策一つで、大きな影響を受けるんだ。だから国政に薬剤師の声を届けなくてはならないよね。でも、あなた一人で、いくら大声で叫んでも声は届かない。薬剤師みんなが一つになって、国政に声を届けなきゃいけない。「**日本薬剤師連盟**」はそのためにあるんだよ。

これから国は、社会保障制度改革を進め、在宅医療を進め、チーム医療を進めていくんだ。薬剤師が、もっともっと患者さんの役に立てる社会的、制度的基盤を作るために、**日本薬剤師連盟**を知って、その活動に期待を込めて応援しよう!

そうだ! 薬剤師連盟に加入しよう!!

お問合せは各都道府県薬連盟へ

編集後記

「Power」の前身である「日本薬連盟だより」は、平成5年11月10日・9月号・11年7月号・14年9月号・15年11月号とその時々の話題をテーマに単発で発行してきました。平成20年1月からは隔月の発行となり、途中、季刊となった時期はあるものの今日まで6年間にわたり発行を続けています。

20年に発行を再開した背景には、平成16年・19年の2度の参議院通常選挙・比例代表制において、日本薬剤師連盟の組織内候補者が相次いで落選したことに始まります。このことは、全国に10万人の日本薬連盟会員が政治に目を向けていないことの証です。そこで、薬剤師にとって政治力がいかに必要かということをお会員の皆様に理解いただくために、当時、その戦略として「日本薬連盟だより」を、既存の班組織を利用して班長さんから直接、会員に配布して頂くこととしました。

そうすることで班内の意思の疎通ができあがり、来るべき時のパワーになると……。日本薬剤師連盟も新執行部が決まり、山本信夫新会長を中心に新たな気持ちで船出することになりました。課題は山積していますが、新執行部役員が一丸となって諸課題の解決に取り組んでいく所存ですし、「Power」もぜひお読みいただきたいと願っています。

(S.O)

広報委員

- 生田泉太郎、安東 哲也
- 大澤 泰輔、島海 良寛
- 大原 整、榑方 絢子
- 近藤直緒美、根本 陽充